

生徒たちからの質問にお答えします。

◆これから先、(暑くなるので)水やりの仕方を変えたほうがよいか。時間帯や与える水の量の目安があれば知りたい。

⇒◎水やりは気温の上がり方や土の保水力(水分をどのくらい保ってられる土か)によって違ってきますが、土の状態を見た感じで水やりが必要か否かを決めて大丈夫です。

ポイントは次の通りです。

- ・土の表面が水をまいた後は黒ずんでいますね。
土が乾いてくると、表面の色が白っぽくなってきます。
土の表面全体が白っぽくなったら水やりが必要です。
- ・水をまくと土は黒ずんできますが、そうであっても、最初は水は土の中の方にはなかなかしみこんでいきません。
水をさっとまいた後、表面を掘り返してみると、土の表面しか濡れていないことが分かります。掘り返してみて確かめましょう。
- ・土の中の方まで水をしみこませるポイントは、「たっぷりと何回も」です。
表面に水がたまるほどたっぷりともいっても、しばらくすると、すぐにしみこんでしまいますので、もう一度、同じようにたっぷりとまきます。
3度目の水やりを終えて、水が引いた後、土の中の様子を観察しましょう。
だいぶ中までしみこんでいるはずですが。
3回繰り返してたっぷり水やりすれば、多くの場合はそれで大丈夫ですが、もし、それでもしみこんでいる水が少ない場合は、もう一度繰り返してください。
- ・たくさん水をやれば良いだろうと、5回以上、タツプリの水やりを続けると、今度は土が水を多く含みすぎて土の中に酸素が少なくなり、根が呼吸しづらくなってしまいます。根も呼吸していますので、十分注意しましょう。
- ・水やりの時間帯は、朝10時ころまでか夕方4時過ぎが良い時間になります。
なぜそうなのかを皆さんで考えてください。また、午前中と夕方ではどちらの方が良いかも考えてみましょう。

◆おいしい・甘いかぼちゃにしたいので、今後どのように育てていけばよいか・工夫することはあるか。

⇒◎これはなかなか難しい質問です。

カボチャは種類によって食べた時に「ほくほく」と感じるものと「ねっとり」と感じるものなどいろいろあります。

「ほくほく」したカボチャが好きな人もいれば「ねっとり」したかぼちゃが好きな人もいますが、「ほくほく」としたカボチャに育つものを「ねっとり」したカボチャに育てようとしてもなかなかうまくいきません。

そのカボチャが元々持っている性質を変えることは難しいですね。

内藤カボチャは「ねっとり系」です。

ねっとり系の内藤かぼちゃを「ほくほく系」に変えることはできませんが、ねっとり系の内藤かぼちゃをよりおいしくしたいですね。

そのための基本は、内藤カボチャをしっかりと元気に育てることです。

皆さんで内藤カボチャを元気に育て、美味しい実をつけてもらいましょう。

◆内藤かぼちゃはどのくらいの大きさにまで育つのか。

⇒◎これは皆さんで育てた結果を楽しみにするのが良いと思います。

皆さんがお店で買ってきて食べるカボチャの大きさを目指して力を合わせましょう。

◆あんどんの中に（ダンゴムシ等の）虫が入ってしまったらどうすればよいか。

⇒◎ダンゴムシは腐った落ち葉などが大好きな虫で、元気な葉は好みませんので

ダンゴムシによる被害の心配ありません。

カボチャの株が小さいころに大きな被害を与える虫がいます。

ウリハムシという虫ですが、担任の先生に写真を送ってありますので、確認してください。

ウリムシがよってこないように「あんどん」をかけています。

それでも入り込んでくるウリハムシもいますので、行燈の中を覗いて、ウリハムシがいれば捕まえてください。

ウリ類が好きな虫なので、ウリハムシと呼んでいます。

ウリハムシは素早い動きはしませんが、手を近づけると飛んで逃げます。

でも、慣れてくると捕まえることができますので、挑戦してみましよう。

ウリハムシは葉っぱを食べる虫ですが、人にかみつくことはありませんのでご心配なく。

◆発芽率は、今後、61%より上がることはあるのか。そのためにはどうすると良い

か。また、発芽していない原因は何が考えられるか。（子どもは水のやり過ぎ？ と考えている）

⇒◎皆さんは「発芽の3要素(3条件)」を習ったことはありますか？

「水」はこの3つの中に入っています。

「水のやりすぎ」も発芽不良の原因になりますが、半分以上の種が発芽しているのですからこれが原因とは考えにくいと思います。

種をまいた状態を考えると、発芽の3要素(水、空気、温度)はどの種にも同じように影響していたのではないのでしょうか。

私は、一番大きな原因は「タネの充実度」ではないかな、と思っています。

タネはカボチャの実の中で育ちますが、すべての種が同じように成長せずに、充実して育った種とそうでない種があります。

その影響だったように思いますが、いかがでしょうか？

そうだとしたら、充実した種をまけば発芽率はよくなる、ということになります。

充実した種はタネの中身がしっかりと育ち重くなっています。これに対して充実していな

い種は中身が育っていないので軽くなっています。
このことを利用すれば充実した種を選び出すことができます。
どうすればよいか、みなさんで考えてみましょう。

☆短日処理をいつまでするとよいか。あんどんの大きさはこのままでよいか。
⇒◎短日処理は今週末まで続けてください。
◎あんどんは今の大きさでは小さすぎますので、大きなものに取り換えてください。

☆これから先の世話で、注意することはあるか。
⇒◎親づる（今成長しているつる）に本葉が6枚で始めたら、その葉の先を摘心(先を切るこ
と)します。摘心するのは子づるの成長を良くするためです。
まずは親づるの葉を数えてください。